

編集・発行

# 富山商船同窓会

**No.26** 平成21年10月1日発行

射水市海老江練合1-2

TEL (0766) 86-5100 FAX (0766) 86-5110

振替口座 00720-1-2631

同窓会HP <http://www.toyama-cmt.ac.jp/people/alumni/>



# 同窓会会報

## 特集

富山高等専門学校が  
誕生します。



富山高等専門学校誕生!!



# 特集

# 平成21年10月 富山高等専門学校が誕生します。

富山商船高等専門学校と富山工業高等専門学校が平成21年10月に国立富山高等専門学校として新たなスタートをします。

両校はこれまで統合を目指して協議を進め、新しい学科構成、地域連携の強化、専攻科教育の充実を含む高度化再編構想がまとまりました。

かつて日本の高度経済成長を担う実践的かつ創造的な技術者養成のため創設された高等専門学校。卒

業生は常に高く評価され、高専教育は確かな成功を収めてきました。今、世界は繁栄の果てに深刻かつ困難な無数の問題を抱えています。混迷する時代に、教育はいかに応えるべきなのか。富山商船高等専門学校と富山工業高等専門学校は、互いの歴史と実績に根ざしつつ専門性と多様性を融合。商船系、工学系、人文社会系という独自の学科を擁する新高専の創校に至りました。

## これまでの経過と今後の予定

### (これまでの経過)

平成18年4月	高専機構に「今後の高専の在り方検討小委員会」設置、検討開始
平成18年8月	高専機構理事会において、同委員会報告
平成18年9月	「国立高専の整備について～新たな飛躍を目指して～」を了承
平成18年9月26日	理事長より各校長に対し、再編整備を検討するよう指示
平成18年10月13日	富山地区2高専、統合再編に向け検討することを発表
平成19年4月1日	富山地区2高専、統合再編検討委員会を設置して具体的検討を開始
平成19年8月31日	富山地区2高専の事務部門を統合し、「富山地区事務部」を設置
平成20年3月	機構本部、4地区において平成21年10月統合を目的に再編整備を進めることを発表
平成20年8月22日	富山高専（仮称）の設置計画書を機構本部に提出
平成21年4月	新高専の学科再編を含めた全体像を公表 平成21年4月 新学科に関する

### (今後の予定)

平成21年10月	富山高専発足
平成22年1～2月	新学科の入学試験
平成22年4月	新学科への学生受け入れ開始

## 高度化再編の内容

### (概要)

- 富山商船高等専門学校と富山工業高等専門学校を統合・高度化再編し、新たに「富山高等専門学校」を設置する。
- キャンパスは射水（現・富山商船高等専門学校）及び本郷（現・富山工業高等専門学校）の両キャンパスを維持・活用する。
- 統合に際し、新学科を設置するとともに、地域連携の強化、専攻科教育の充実を図り、より高度な人材育成を目指す。

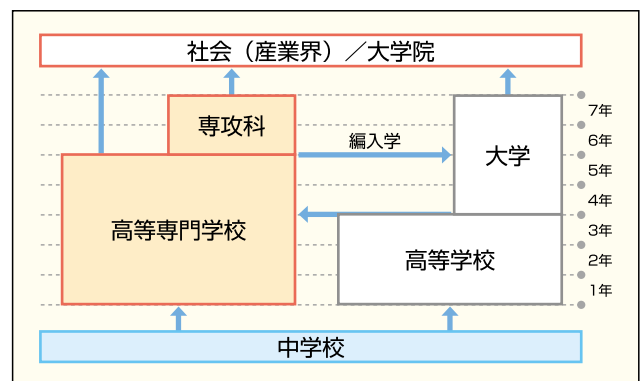
## (学科構成)

- 現在の各高専4学科、計8学科を6学科に再編し、射水、本郷の両キャンパスに、3学科ずつ配置する。
- 商船系・工業系・文科系の3分野の学科を有する特色を活かし、キャンパス間・系間・学科間の連携を強化することにより、教育内容を充実させる。

## 5年一貫教育

しなやかな頭脳の15歳の時点から20歳まで、5年間の一貫した専門教育を行います。大学入試の影響を受けないメリットを生かして、効果的・効率的な教育課程を確立し、少人数のクラス編成のもとで、世界で認められた高等教育を展開しています。

理論的な基礎の上に立って、実験・実技・実習などを重視し、技術分野において大学の学部レベルまでの教授を目標とします。また課外活動なども受験による中断なく取り組むことができ、寮生活を通して得る豊かな経験など、やがて自分自身の財産となるでしょう。



## 統合のメリット

人の学びと成長を最優先に考えた教育システムで地域社会を元気にする人材を送り出し、高く評価されている富山商船高専と富山工業高専。2009年10月に統合されてひとつになり、さらにパワーアップします。新高専においても学びの主役が学生であることに変わりはなく、加えてさらに優れた教育環境と、手厚いスタッフのバックアップが得られます。

また多様な文化とすばらしい専門性を持つ教職員や、専門分野の異なる学生と、じっくり時間をかけて接することができ、豊かな人間性を育むことができます。

### くさび形教育

人の学びと成長を最優先に考えた教育システムで地域社会を元気にする人材を送り出し、高く評価されている富山工業高専と富山商船高専。2009年10月に統合されてひとつになり、さらにパワーアップします。新高専においても学びの主役が学生であることに変わりはなく、加えてさらに優れた教育環境と、手厚いスタッフのバックアップが得られます。

また多様な文化とすばらしい専門性を持つ教職員や、専門分野の異なる学生と、じっくり時間をかけて接することができ、豊かな人間性を育むことができます。

社会人として、技術者として、成長するための基盤となる一般科目とともに、各学科の専門科目を1年生から段階的に導入します。学年が進むごとに次第に専門科目の時間数が増え、3年生では総時間数の約半分に、4・5年生ではほとんどが専門科目となります。5年間を通じて一般科目と専門科目をバランスよく学ぶ、いわば“くさび形”の教育体制は、大学などの高等教育機関が見本としています。卒業時には4年制大学卒業生とほぼ同レベルの専門知識を得ることができ、実践力と創造力に富んだ技術者へと成長します。

エコデザイン工学専攻、制御情報システム工学専攻	専攻科 2年
国際ビジネス学専攻、海事システム工学専攻	専攻科 1年
機械システム工学科、電気制御システム工学科	5年
物質化学工学科、電子情報工学科	一般教養科目 4年
国際ビジネス学科、商船学科	数学、理科(物理、化学)、国語 3年
専門科目	英語、社会、体育、芸術 2年
	第二外国語 等 1年

## 商 船 系

### 商船学科

射水キャンパス

海と船で使われるいろいろなテクノロジーを勉強し、世界中で活躍するナビゲーターやエンジニアを目指します。最新シミュレーターやハイテク練習船など、実物で実習しながら理論と技術を学び、即戦力となる能力を身につけます。大きな船で海外へ航海する乗船実習があるので、卒業は9月になります。

■資格 卒業により三級海技士（大型船の幹部船員）の筆記試験免除。  
上級海技士、一級小型船舶操縦士、無線通信士、英語検定など各種国家試験の資格取得を勧めています。

## 工 学 系

### 電子情報工学科

本郷キャンパス

ソフトウェア、電子、ネットワークについての基礎から応用までを、実習・演習を豊富に取り入れた体験重視型教育により学びます。「自ら考えてものをつくる」た

めの総合的な専門知識を持ち、情報通信社会の基盤となるデジタル技術の明日を担う技術者を目指します。

### 機械システム工学科

機械を構成する材料の物性、製造方法、加工・生産技術、機械設計に欠かせない材料・熱・流体・機械の力学、電気・情報処理など、基礎から応用であるシステム構築までを通した総合的な知識・技術を学び、機器設計、技術開発等を行うことのできる技術者を目指します。

### 電気制御システム工学科

エネルギーやコンピューター、通信に重要な役割を果たす電気の性質や電気と機械を融合したメカトロニクスについて学びます。回路やプログラムを組んで装置を動かすなどの実験実習も行い、将来は夢のような働きを実現するロボットなど高度な融合技術を支える技術者を目指します。

### 物質化学工学科

学・生物化学を中心とした学科。中心科目については講義と実験の2本立てです。化学分析や合成・物性測定など、多くの実験で確かな知識を身につけます。ナノマテリアル・環境技術等の幅広い知識と最先端技術の知識を備え、化学・医薬品工業分野で活躍する技術者を目指します。

## 人 文 社 会 系

### 国際ビジネス学科

射水キャンパス

経営、商業や流通・貿易などに関する専門知識や国際的なコミュニケーションの基礎となる英語や環日本海諸国語を学び、さまざまな情報を処理して活用する手法やプレゼンテーション技術などを養い、国際的に活躍するビジネスパーソンを目指します。

■資格 英語検定（準1・2級）、TOEIC、ロシア語能力検定、中国語検定、韓国語能力試験、日商簿記検定、通関士、ビジネス能力検定、国内旅行業務取扱管理者、総合旅行業務取扱管理者、情報活用など幅広い資格取得を勧めています。

## 専 攻 科

射水キャンパス

本郷キャンパス

卒業後、さらに2年制の専攻科に進むことができます。少人数での実験・実習を通して理解を深め、より高度な知識・技術を身につけます。企業や大学との共同研究や小中学生への教育体験を通し、広い視野でこれからの時代に柔軟に対応できる人材を目指します。

■学位 専攻科において所定の単位を修得し、大学評価・学位授与機構の審査を経た学生には学士の学位が授与されず（大学学部と同等）。

### （専攻科の充実）

- これまで専攻科になかった国際ビジネス分野についても、専攻科を設置し、すべての学生に専攻科進学の道を拓く。
- より高度な知識・技術を有する人材を多数育成するため、専攻科の入学定員を増加する予定。

**(地域連携等の強化)**

- 教員の研究能力を活用して、地域企業等との共同研究、技術相談等を推進し、地域や産業の活性化に貢献する。
- 地域企業の技術者等の協力を得て、その有する知識・技術を高専教育に活用し、高度な職業人育成を図るとともに社会人再教育等を推進する。
- 環日本海地域に立地する特徴を生かして国際性ある人材を輩出するため、語学教育及び意文化教育を充実させる。
- 地域社会の持続的発展を目指し、環境に配慮した技術力・実務力を有する人材を育成するため、環境教育を充実させる。

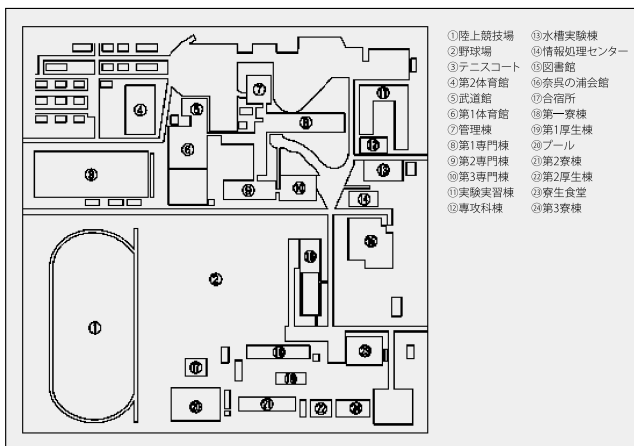
**実践的教育**

広大なキャンパスには先進的な設備の整った実験室や研究室が、さらに射水キャンパス近くには臨海実習場があります。充実した環境を活用した本格的な実践教育を実施し、豊富な体験を積み重ねることで、実社会で生きる高度な技術と知識を身につけます。また卒業研究発表やロボットコンテスト、プログラミングコンテスト、プレゼンテーション大会などを通して創造する喜びを体感しつつ、さまざまな角度から実践力を高めます。

**射水キャンパス**

**■電子情報工学科 ■国際ビジネス学科 ■商船学科**

商船系、工学系、人文社会系の3学科を擁する射水キャンパスは、学生の出身地も北海道から関西まで、さまざまな個性が集まっています。多様な経験を持つスタッフ、友人、先輩、地域とともにキャンパスライフを送り、自らの可能性を引き出します。約4km離れた富山新港には臨海実習場があり、教育実習や課外活動に活用しています。遠方の学生には寮を完備。通学生には最寄り駅から通学バス(有料)を運行しています。



**笑顔が集う 奈呉の浦会館**

1階に明るい食堂や売店、2階には多目的集会室や和室があります。さまざまな集会や課外活動に利用され、昼休みや放課後は、学生やスタッフの交流の場として親しまれています。



**人間性を育む 第2寮棟**

さまざまな地域からの学生を受け入れる学寮「和海景」。学科・学年を超えた交流や、集団生活を通じて協調性・自主性に富んだ人間形成ができます。また規律ある生活習慣が身につきます。



**近代的実習船 若潮丸**

練習船「若潮丸」は全長54m、総トン数231tの近代的設備を誇る船舶。商船学科はもちろん全学科の学生が何らかのかたちで利用します。また海をフィールドとした研究や公開講座にも活用されています。



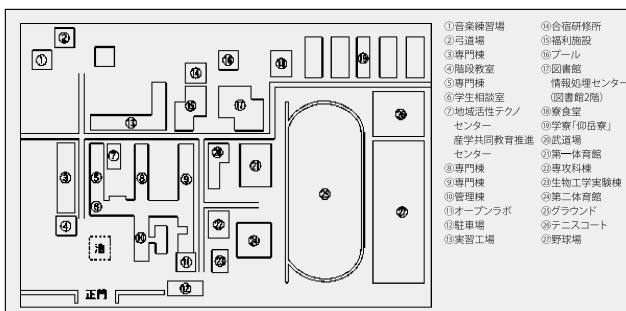
〒933-0293 富山県射水市海老江練合1-2  
TEL: 0766-86-5100 FAX: 0766-86-5110 (代表)

- ◆バス/富山駅前から「新港東口」行きバスに乗車〜約30分〜「練合」下車、徒歩2分
- ◆通学バス/JR東富山駅、富山駅、呉羽駅、小杉駅、高岡駅や新湊方面から通学バス(有料)を朝夕に運行
- ◆コミュニティバス/射水市のコミュニティバスも利用可

**本郷キャンパス**

**■機械システム工学科 ■電気制御システム工学科 ■物質化学工学科**

立山連峰を間近に望む本郷キャンパスには、工学系の3学科があります。富山駅からの路線バスの終点で、キャンパス内でバスがUターンします。冷暖房完備の教室、蔵書数7万冊超の図書館、コンピュータが沢山あるマルチメディア室、広大なグラウンド、快適な学生寮。すべてが、高校とは違う世界です。恵まれた環境で、思いきり“ものづくり”にチャレンジしてください。





### 洗練された空間 学生玄関

自動ドアの学生玄関が、洗練され雰囲気で学生たちを迎えます。高専は大学と同じで、校舎内へは下足のまま入ります。したがって中学校と違い玄関には下駄箱がありません。



### ものづくりの拠点 実習工場

たくさんの工作機械（機械をつくる機械）がある、ものづくりの拠点。高専にはこのような“工場”があり、授業はもちろん、休み時間や放課後などに自由に使える工房もあります。



### 最新環境が整う 実験設備

化学系学科の建物と教室の改修にともない、実験設備・機器をリニューアルしました。最新の実験設備を使い、基礎から応用、研究まで幅広く活用できる環境が整っています。



〒939-8630 富山県富山市本郷町13番地  
TEL：076-493-5402 FAX：076-492-3859（代表）

- ◆バス/みずほ信託銀行前（2番乗り場）から「国立高専行（朝菜町経由・下堀経由）」に乗車～約30分～国立高専〔終点〕下車
- ◆電車/電鉄富山駅からの場合「岩崎寺行」に乗車～約14分～小杉駅下車、徒歩15分
- 岩崎寺駅からの場合「電鉄富山駅行」に乗車～約15分～布市駅下車、徒歩15分

富山地区に本年10月に誕生する富山高等専門学校の校章が、県内の多くの機関・団体のご協力を得て、上記のとおり決定しました。

富山商船高等専門学校と富山工業高等専門学校が組織する富山地区高専統合再編検討委員会では、本年1月から3月にかけて、富山県デザインセンターのご指導のもと、(社)富山県デザイン協会に校章のデザイン公募を委託しました。

その結果、応募があった49点（個人12人22点、法人8社27点）について、(社)富山県デザイン協会による予備審査（優秀作品6点選出）と、校章選定審査委員会（委員長：富山県立近代美術館普及課長片岸昭二学芸員、両校長を含む4人の統合再編検討委員会委員で構成）の最終審査により、最優秀作品として1点が選定され、最終的に3月の統合再編検討委員会で新しい高専の校章として決定しました。

数多くの応募作品は、いずれもハイレベルで審査が難航しましたが、予備審査で選定された優秀作品の6点はその中でも特に高い評価を得て選定されたもので、最終審査では、最優秀賞の作品について、デザイン性のほかに、各審査委員から「富山の頭文字Tをデザイン化されている」や「スクリーウのように見える」、「両高専のスクールカラーである若竹色とマリンプールが使われていて良い」、「学生、教員、職員の三者をあらわしているようだ」、「炎のような躍動感を感じる」など様々な感想が述べられるほど、作品の持つ豊かなイメージ性にも高い評価が集まり、投票の結果、審査委員5名満票で最優秀作品として推薦されたものです。この校章は、現在商標登録中ですが、今後、ホームページや印刷物などいろいろな形で皆さんの目に触れることになるとと思いますので、よろしく願います。

なお、本校の学生、教職員が使用する場合の使用方法については、下記担当者までお問い合わせください。

### ☆公募選定結果

- 最優秀賞 嶋田潤壺（株式会社アキデザイン）
- 優 秀 賞 吉野光男（有限会社デザインルームCR）  
株式会社アイアンオー  
篠井秀樹・嶋田潤壺（株式会社アキデザイン）  
畑中達弥（相互企画印刷株式会社）  
相馬秀明（相互企画印刷株式会社）

### 新富山高専の校章が決定!!



学生・学校・地域の3者が互いに手を取り合っている様子を表現した校章です。協力・交流・持続的  
社会といったメッセージがこめられています。組み合わせあって表現される形は、アルファベットのTをイメージ。これは、

Think（考える）、True（真実）、Thank（感謝）の3つの英単語の頭文字であると同時に、これらを包み込む母体であるToyama（富山）のTをあらわしています。

### 「富山商船同窓会」の今後について

平成21年10月1日をもって「富山商船」という名の学校はなくなります。とても悲しいことです。同窓会事務局としては、「統合」問題が提起されてから今日の日まで、各方面にさまざまな形で反対メッセージを出してきましたが、あと2ヶ月余りでその事実を受け入れざるを得ない状況にあります。しかし、現状の「富山商船同窓会」は3,500余名の会員を擁して健全に運営されています。したがって今後の運営方針等は会員の慎重な審議の上決定、実行されるべきものと考えています。

### 【統合問題に関する経過報告】

- 1、支部長会議（平成20年3月1日 富山 高志会館）

- ・基本的に学校統合に反対する。したがって、同窓会の統合にも反対することで合意。
  - ・統合が実現するのであれば「商船」という名をキャンパス名に残して欲しい。
- 2、 20年度理事会・総会（平成20年11月8日 富山電気ビルレストラン）
- ・基本的に同窓会の統合はしないものとするで合意。
- 3、 工業高専、商船高専同窓会会長合同会議（平成21年3月27日 商船高専会議室）
- ・双方の同窓会は統合せず、これまで通りの活動を行なうものとするで合意。
- 以上の経過から「富山商船同窓会」は当面これまで通りの活動を継続していきますが、今後以下の問題点が浮上してくると思われます。

【今後の問題点】

- 1、 5年後の卒業生への対応（会費の徴収と入会幹旋）  
両キャンパスの学生は全員が「富山高等専門学校」

の卒業生であるので、「富山商船同窓会」または「富山工業高専同窓会」への入会幹旋方法を確立する必要がある。

- \* 商船同窓会は卒業時に入会金を徴収するので、卒業者のみが同窓会会員となるが、工業高専同窓会は入学時に入会金を徴収しているため、全入学者が同窓会会員となっている。

2、 名称の変更

5年後以降、射水キャンパスの卒業生が商船同窓会に入会していただけたらとなった時、会の名称が「富山商船同窓会」のままが良いか？

今後、新名称を検討する必要があるのではと考えられます。

以上多くの問題点を抱えての10月スタートですが、今後の「富山商船同窓会」を順調に運営するためにも、皆様のご協力をお願いします。

会長就任のご挨拶

同窓会長  
島木 隆昭 (N55)

S40～S45 船会社勤務  
S45～H19 母校勤務  
S20 母校名誉教授



昨年11月の同窓会総会に於いて、かねてよりお辞めになる旨を申し出ておられた山元会長の後を受けて、同窓会長の重職を引き受けることになりました。

山元会長は平成18年母校創立100周年において協賛会長として予定されたすべての事業を無事終えられ、誠にご苦勞様でした。そして、ありがとうございます。今後もよろしくご支援の程お願い申し上げます。

さて、同窓会として今後取り組まなければならない課題は母校と富山工業高等専門学校との合併に伴う同窓会の運営方法であります。

先般、総会の席で学校から提出された資料によると、新学校名は平成21年10月に「富山高等専門学校」となります。（富山商船の名が消える？）そして、新学校名での最初の卒業生は平成22年3月に誕生することになります。新卒業生を迎えるにあたり、平成20年3月に支部長会議がもたれ、同窓会の体制は現状のまま運営する旨、決められたと聞いております。これを基に同窓会の目的である「会員相互の親睦をはかること」また、「母校の発展に寄与すること」に配慮し、工業高専の同窓会との連絡を持ち運営していきたいと考えております。会員の皆様には今後もよろしくご支援の程お願い申し上げます。

環境大臣賞を受けて

機関科14期 堀口 兵策 (富山市在住)

海上生活13年後、転職、主に生活環境に関連した汚水処理装置の設計、施工、メンテナンスに携わり、今日に至りました。近年世界的にも、環境問題が大きくクローズアップされている中、この仕事を続けて39年、僅かながらの業績を評価されたものと思いい大変に嬉しく光栄に思っております。これもひとえに、多くのご理解と、ご協力の賜物と思っております。尚、この業務に関しては、本校の機関科課程を修了した事が、技術面で大いに役立った事を感謝しております。技術は宝、自分自身の為にはもとより、必ず社会に貢献出来る物と、信じております。将来に大いなる夢を描いておられる、後輩、在学生の皆さんにしっかりと技術を習得されるよう願っております。

(平成21年5月21日、東京ANAコンチネンタルホテルにて受賞)

母校OB E33期生 四十九 英明さん

JR富山駅長に就任される!!

(6/26 北日本新聞掲載)

「必ず行動する」ことが大切」  
JR富山駅長に就任した四十九 英明さん  
今年、富山駅長に就任した四十九 英明さん。3年前は金沢支社に勤務していたが、北陸新幹線、白根線や建設業者として、建設現場に詳しい経験と、新幹線や建設現場での経験が、駅長に就任する上で大きな強みとなっている。富山駅は、JR東日本の主要駅の一つで、JR西日本の新幹線も乗り入れる。駅長としての責任は非常に重い。英明さんは、富山駅をより良くするために、様々な取り組みを進めている。富山駅は、JR東日本の主要駅の一つで、JR西日本の新幹線も乗り入れる。駅長としての責任は非常に重い。英明さんは、富山駅をより良くするために、様々な取り組みを進めている。

# 定期総会

日時 平成20年11月8日(土)

場所 富山電気ビルレストラン

定期総会及び懇親会が例年通り電気ビルレストランで行われ、総会では4年間にわたり会長を務めていただいた山元会長(N47期)が退任され、島木隆昭さん(N55期)が新会長に就任されました。また千葉校長より平成21年10月の学校統合の説明も行われ、今後の同窓会のあり方についても協議された結果、今後も富山商船同窓会としてあり続けることとなりました。今後も皆様のお力添えをよろしくお願い致します。

懇親会では、いつもこの時に顔を合わせる仲間や久しぶりの再会を喜ぶ仲間が弾み、最後に新・旧会長の挨拶と万歳三唱で閉幕しました。

- 1 開会
- 2 会長挨拶 (N47 山元 賢治)
- 3 学校長挨拶  
千葉学校長、成瀬学生主事、中谷寮務主事
- 4 支部長挨拶  
関東支部 (E18 菅野 智昭)  
関西支部 (N50 北嶋 憲一)  
函館支部 (N50 千葉 辰巳)  
新潟支部 (N50 岡本 伸幸)  
富山支部 (E30 山口 光三)
- 5 母校近況報告 (教務主事 遠藤教官)
- 6 会報報告
- 7 平成20年度決算報告
- 8 監査報告
- 9 平成21年度活動予定
- 10 平成21年度予算案
- 11 役員交代
- 12 学校統合問題
- 11 その他
- 12 閉会

## 校長挨拶

### 富山に、新モデルの高専が誕生します。

富山商船高等専門学校長 米田 政明



本年4月より、千葉貞前校長の後を受け、100年を超える歴史と伝統を誇る富山商船高専の校長を務めております米田でございます。同窓会の皆様には、平素から母校の教育研究活動に対し、格段のご理解並びにご支援を賜っておりますこと、先ずもって厚くお礼申し上げます。

皆様ご案内のように、平成16年に、全国に55校ある国立高専は独立行政法人国立高等専門学校機構(以下、高専機構と略記)が設置運営することとなり、いわゆる「独法化」が行われました。以来、早いもので5年半が経過し、第1期中期目標・中期計画期間が昨年度で終了し、今年度から第2期中期目標・中期計画期間に入っています(独立行政法人は主務大臣から5年間の目標を指示され、それを達成するための計画を作成して主務大臣に届けることが法律で義務付けられています。これを通常、「中期目標・中期計画」と呼んでいます。高専機構の場合、主務大臣は文部科学大臣)。

この5年間、本校では教職員一丸となって、Plan-Do-Check-Actサイクルを廻して業務改善に取り組んで参りました。先般、外部有識者による「運営諮問会議」(本校の活動を評価し苦言や提言をいただく会議。議長は富山大学西頭徳三学長)を開催しましたところ、教育、研究、社会貢献・国際交流、管理運営、業務の効率化などに関し、「着実に成果を上げている」とのお褒めの言葉を多数いただきました。大変ありがたいことであり、同窓会の皆様にご報告申し上げる次第です。

さて、皆様ご存知かと思いますが、本年10月1日に本校は富山工業高専と「高度化再編」により統合し、『富山高等専門学校』として生まれ変わります。

昭和30年代に日本の高度成長を支える中堅技術者を養成する高等教育機関として全国津々浦々に設置された高専(本校は昭和42年の設置。商船学校としての歴史は明治39年の新湊町立新湊甲種商船学校に遡及)は卒業生に対する評価が高く、日本で最も成功した学校種と言われ

ていました。しかし、高専を取り巻く社会情勢は確実に変化していました。中学校卒業生を受け入れる高専にとって15歳人口の激減(平成元年の205万人から平成20年は120万人に減少)は大きな痛手です。また、技術がブラックボックス化することと比例して顕在化してきた子供たちの理工離れも深刻な問題です。そして何よりも、年を追うごとに技術が高度化しグローバル化の中で、高専卒業生に対する産業界からのニーズが中堅技術者から「創造性に富む実践的技術者」に移ってきました。このような社会情勢の変化の中で、高専機構は国立高専の「高度化再編」に舵を切りました。

高度化再編の内容は(1)教育研究の高度化、(2)専攻科の充実、そして(3)地域連携機能の強化です。『富山高等専門学校』の場合、現在の両校合わせて8学科から6学科に再編します(入学定員は320人から240人に縮小)。専攻科は新たに国際ビジネス学専攻を立ち上げ、さらに工学系専攻では入学定員を2倍にします(専攻科入学定員は28人から40人に拡大)。さらに、地域人材開発本部を設け、傘下に地域イノベーションセンター、教育技術センター、国際教育センターを置いて専任教員を配置します。この高度化再編を言葉で表しますと「量を抑制して、質の向上を図る」、あるいは例えて言いますと「足腰が強いうちに体質改善をして、今後の持続的発展に備える」ということになるかと思えます。

今回は、富山地区以外にも宮城、香川、熊本地区で、高度化再編による統合が行われますが、他の3地区は全て工業高専と電波高専の組み合わせです。『富山高等専門学校』は商船系1学科、工学系4学科、人文社会系1学科から成り、分野多様性を持つことが最大の特徴です。両校の歴史と伝統の上に立って力を結集し、分野間連携とキャンパス間距離を超えた融合を図り、「創意・創造」、「自主・自律」、「共存・共生」を教育理念に掲げて、新モデルの高専に相応しい高専、また一層地域から愛される高専を目指して参ります。

両校にとって、学校が暮を閉じるのは寂しいことです。新高専の学校名から「商船」の2文字が、あるいは「工業」の2文字が消えることに断腸の思いをされている方も多く存じます。しかし、高専の歴史の中で最大の出来事に立会い、明日からの歴史を自らの手で創っていくこともまた意義深いことと感じ、教職員一同、一丸となって努力して参りますので、同窓会の皆様には引き続き暖かいご理解並びにご支援・ご鞭撻を何卒よろしくお願い申し上げます。

# 支部会だより

## 函館支部

### 石川富船会



能登はまだ新緑に程遠い4月10日、和倉温泉美湾荘で富船会を開催しました。

25名ほど予約して頂いたのですが、最終的には18名の参加でした。会員の皆さんも高齢になり、体調維持に苦慮しているものと思われまます。

総会では、本部佐々木先生により送って頂いた学校の現状等を説明し、皆さんからは同窓会の今後についてのご質問も出ました。

東京から毎回ご参加のN32期の松井邦夫さん（能登出身）も、次回が最後の参加になるであろうとっておられました。

来年は松井さんの送別会を兼ねて、富船会を開催したいと思いますので、沢山のご出席をお願いいたします。

E13期 川端 記

平成21年6月20日、17時30分から函館駅前フィットネスホテル10階で同窓会函館支部総会を開催しました。

本部から島木会長が出席され、函館支部から17名の出席がありました。千葉支部長の開会の挨拶があり、函館支部総会を開催しました。

本部から出席の島木会長から富山高専との合併の経過説明の後、会員山田友二（N35）さんの乾杯により懇親会を開催し、例年のように、年齢を感じさせない盛り上がりを見せて閉会しました。

#### 出席者

山田 友二(N35)	小寺 義信(N36)	近藤 金哉(N36)
寺井 昭吾(N37)	吉崎 克見(N37)	古沢 秀臣(N39)
山内 弘(N45)	向井 晟伍(N45)	千葉 辰見(N50)
柴田駿之助(N50)	北島 大陸(N50)	勝木 敏秀(N53)
三浦喜八郎(N53)	佐野 正弘(N57)	



## 学内 掲示板

昨年秋より第2期学寮改修工事（第3寮棟・寮生食堂）が完了しました。この改修により3寮全室の壁、床、天井の塗装、室内ロッカーが新調されました。以前に比べ広く、ロッカーが可動式になった為、部屋のレイアウトが自由にできるようになりました。全体として明るく落ち着いた雰囲気となっています。また、共同スペースでは補食室が新設された他、洗面所、トイレが整備されました。現在、1年生から2年生の男子学生が起居しています。寮生食堂は厨房を全面改装、学生が食事をする各テーブルも新調され、清潔感のある空間となりました。

第3寮棟、寮生食堂の  
改修工事完了



▲第3寮棟



▲洗濯室



▲洗面所



▲トイレ



▲補食室



▲補食室



# 山田聖典先生逝く

## 復帰の願い届かず



本校教養学科数学科准教授の山田聖典先生が、7月15日(火)14時49分にお亡くなりになった。享年44歳。山田先生は、平成7年に本校に着任され、数学の授業を担当された他、寮務主事補・学生主事補などを歴任され、平成14年には商船学科1年生の担任をされた。

部活動では、長年、野球部顧問として部のために献身的に指導された。また、平成20年には人事交流の一環として富山工業高専に1年間の予定で着任された。しかし、秋に発病されて入院、そのまま教壇に戻ることなく、帰らぬ人となられた。

山田先生の指導はとても分かりやすいと放課後にも数学や専門の物理の質問に訪れる学生が後を絶たず、編入試験のための指導も熱心に行われていた。野球部の試合では部長としてベンチに入れない時には、下級生部員と一緒にメガホンを持ち、熱い声援を送っておられた。

また先生は音楽を愛される方でもあり、休日の研究室からはピアノの音色が流れてきたことも印象深い。「GTY=グレート・ティーチャー・ヤマダ」と学生から呼ばれてもいた。

学生に対する熱い思いを常に持ち続けておられた先生の人柄を偲びつつ、先生のご冥福をお祈りしたい。

### 弔辞

山田教官、久しぶりにお会いするのが、この場であることをお許しください。在校生・卒業生を代表して、お別れの言葉を述べさせていただきます。

とは言え、教官にはお話ししたいことがたくさんあるので、昨夜は言葉を探し、眠れませんでした。

7年前の春、山田教官とは、私たちの担任という形で出会いました。山田教官のことを私たち学生は、いつも「やまちゃん」と馴れ馴れしく呼ばせていただいていた。

そんな私たちを、いつも親しみのある笑顔で受け入れてくださいました。そんな、「やまちゃん」の、この度の突然のご訃報、いまだに信じられない思いです。

約1年ほど前に、「やまちゃん」が入院したとの一報を受けましたが、私たちは「やまちゃんなら大丈夫やろー」とか、「何か食べ過ぎたんじゃないの」なんて言っていました。後に、病名や予想を超える容態の悪さを知らされるようになって、私たちは信じ続けていました。

だって、私たちは元気な「やまちゃん」しか知らなかったのですから。

休み時間も放課後も、いつも「やまちゃん」の教官室には山本教官、中谷教官、古川教官がいて、そして学生もあふれかえっている、そんな日々が当たり前すぎて、「やまちゃん」はまたいつものように、「俺はいそがしいんだっつーの」なんて言いながら、他愛もない話をしに戻ってくるんだって思っていました。

今もこうして目を閉じると、あの楽しかった毎日が思い起こされます。「やまちゃん」は、カッターレースで優勝した時には、ジュースをおごると約束したり、北斗祭でも私たちが挑戦したいと言ったことを、頭ごなしに否定するのではなく、一緒に考えようしたら実現できるのか悩んでくれました。

もちろん、いつも、おもしろおかしく数学の指導をしてくださった授業は、私たちにとって1番楽しい時間でした。数学の苦手な学生にも、粘り強く教えてくださいました。

いつも自分の時間を犠牲にしてまでも、私たちの話を聞いてくれ、「やまちゃん」が、担任をして下さっているときは、学校が嫌だと思っただけではありませんでした。

中学卒業後の多感な時期に「やまちゃん」に出会い、私は初めて「大

人」を受け入れることができるようになりました。

そして、私たちが、どんなにやんちゃな事をして、「やまちゃん」はいつも「俺にまかせとけ」って寛大な心で受け止めてくれました。

そして、怒るときには怒り、最後には絶対に笑って許してくださいました。

教官としてはもちろん、時には父のように心配して下さり、時には兄のような思いやりをくれ、さらには友達のように刺激を与え続けてくださいました。

「やまちゃん」のおかげで、クラスもまとまり、「山田組」という全員の名前を刻んだおそろいのTシャツを作ったりしました。そのTシャツは今も私の部屋の壁を飾っています。

月日はたち、私たちも大人に近づいた頃には、立場が逆転して、私たちに心配されるようになっていましたね。山田教官の教え子は何百人にも及ぶかもしれません。しかし、私たちにとって山田教官はたった一人の愛すべき恩師なのです。人情味にあふれた、優しい教官でした。私たちはよき師を得て、まことに幸運でした。

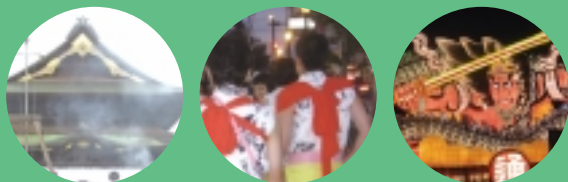
その「やまちゃん」が、もうこの世の中に、いないなんてとても信じられません。私たちの中には、いつも教官の笑顔、声が輝き響いています。ここにいる仲間も、今日ここに来れなかった、全国に散らばった仲間たちも、世界のいろんな場所で活躍している仲間たちも、富山商船高等専門学校の思い出と共に、いつまでも「やまちゃん」のことを忘れません。

「やまちゃん」、これからも私たちの星となって輝き続け、私たちに微笑みかけ、航路を誤らないように導いてください。また、ゆっくりして、たまには得意のピアノも弾いてください。お別れは尽きませんが最後に言わせてください。教官、本当にありがとうございました。

どうぞ安らかにお休みください。

平成二十一年 七月十七日

富山商船高等専門学校  
海事システム工学 専攻 二年  
城岡 祥子



# 282歳(4人)の 東北ドライブ旅行記

N-50期 北嶋 記

5月のある日 現役引退した者同士が、何か機嫌よく遊べる事無いか～との事で、東北4大祭りを見に行こうか？との話になった。

色々ツアーリストでカタログ等を見て、結構な金額に驚き、相談の末、車で行こう・・・との事になる。

目的地を青森の「ねぶた」見物をメインに計画を立てる、せっかくだから、行き道で日光東照宮を見て、青森の「ねぶた」を見て、帰り道 平泉の中尊寺、松島湾の遊覧及び伊達正宗公の菩提寺「瑞巖寺」、会津若松の飯盛山、草津温泉、長野の善光寺を廻って来ようとの事に決まる。

早速宿の手配をするが、長旅のドライブとなれば二人だけでは厳しい、友達を誘うことにする。

近くの友人に話すと、即座に俺も行く、そして友達も・・・との事で4人のメンバーが揃う。

昭和35年富山商船学校の卒業生4人(北嶋、森田、下田、曾根)合計年齢282歳のカルテットになる。

時期を青森の「ねぶた」に合わせ、8月4日美濃加茂の森田邸を出発する事にする。

## 8月3日

16:00 名古屋駅に集合(北嶋、下田、曾根) 森田君の車で森田邸に行き、前夜祭をする。

## 8月4日

05:15 森田邸を出発、最初の目的地 日光東照宮へ向かう。

13:00 日光東照宮へ到着、拝観後 中禅寺湖、華厳の滝を見て

17:00 今夜の宿、鬼怒川温泉へ、本日のドライブは約500km



## 8月5日

08:30 鬼怒川パークホテルを出発、青森県黒石温泉へ向かう。行程570km

16:30 黒石温泉「山賊館」に到着、地元の同級生 木村正助夫妻と会食、学校時代の懐かしい話に花が咲く。



◀ 木村氏と話弾む

# 同期会

## E25同期会

平成20年9月21日●於:雨晴温泉「磯はなび」

昭和43年3月卒業以来、早50年が過ぎました。白いものが当たり前になって赤いものを着用した歳も過ぎ、平成20年9月21日(日)38会を氷見磯はなびで開催しました。

5年に一度が4年(オリンピック年)に一度となり今回で数えて第7回になります。次回は、ロンドンオリンピックの年の2012年です。また、毎年石川・富山県人会は一同に会しています。ご連絡下さい。(山口 記)





◀ 木村夫妻を囲み 記念撮影

8月6日

15:30 青森駅裏の旅館「はれやま旅館」に到着、ひと風呂浴びていざ「ねぶた」見物に



▶ 「ねぶた」を盛り上げる はなさん達

8月6日

08:30 黒石温泉「山賊館」を出発、十和田湖、奥入瀬溪流、を観光後、ねぶた見物の為青森駅前のメイン会場へ、棧敷席にて「ねぶた」見物



▶ 高村光太郎の記念像 (乙女の像)前にて



▶ 森田君 はなとそとと記念撮影



▶ 奥入瀬溪流に



## N55・E22同期会

平成20年11月29日～30日 ● 於:雨晴温泉「磯はなび」

「雨晴温泉磯はなび」は、カッター訓練や遠泳、若潮丸巡航などを楽しんだ、新湊・奈呉の浦や氷見海岸を望む高台に建つ。ここに同伴の婦人を含む24名が4年振りに顔を合わせた(欠席者の現状は、返信はがきのメッセージを披露)。多くは白髪交じりとなったが、同期会ともなれば、母校で過ごした十代の気分に若返る。懇親会、そして二次会と、深更、日をまたいでの往事の素地丸出しの発散と歓談が続いた。本会には、故永田君の奥様から、過分なご芳志を賜わった。故人の口癖は「いつの時も良い仲間と囲まれ、人には恵まれたなあ」であったという。改めて、故人のご冥福をお祈りするとともに、奥様にお礼を申し上げたい。

島木君が、母校の同窓会長に就任し、お役目でロボコン大会などにも顔を出したという。富山工業高専との統合により、校名から「商船」の名が消えるとも聞く。卒業してから既に44年、長い年月の流れを感じる。次の同期会は、4年後の予定である。(N55 中野佳博記)



参加者(N55)五十嵐 博、和泉 和侯、伊藤 喜弘、島木 隆昭  
高岡 昭男、塚原 政和、中野 佳博、藤森 剛  
(E22)荒木 利弘、五十嵐靖郎(婦人同伴)、井口勝二郎  
池嶋 英明、稲邑 久雄、佐藤 美勝、鈴木 道男  
白井 孝司、谷口 清邦、林 幸康、間海 幸則  
師橋 勇司(婦人同伴)



次々と繰り出される  
勇壮な大型「ねぶた」と  
後に続くはねとさん達



8月6日

19：00より次々と繰り出される22台の大型ねぶたを栈敷席から観賞、これを見る為、はるばる青森までやって来たのだった。

8月7日

ねぶた 見物翌日 平泉の中尊寺へ、わんこ蕎麦を食べて中尊寺の金堂見学にゆき、後 松島海岸花ごころの湯 新富亭で2級下の佐々田哲夫氏と合流、会食を楽しむ



▶ 中尊寺門前にて



◀ 佐々田哲夫氏を囲み夕食、回顧話に花が咲く

8月8日

伊達正宗公の菩提寺を参拝、後 松島湾の多島海を遊覧船にて景観を楽しむ。松島を12：30に出発、東北自動車道路を走り15：30 猪苗代の「庭園露天風呂の宿 朝日館」へ到着。

8月9日

09：30 猪苗代出発、会津若松の飯盛山の白虎隊自刃のお墓へお参り。磐越自動車道路、北陸自動車道路、関越自動車道路を径由、草津温泉へ

16：30 草津温泉「ホテル高松」に到着、旅装を解き、草津温泉の湯元、湯畑を見に行き、湯もみ館へ入り、湯もみの実演、草津節の踊り等を観賞してホテルへ帰る。



▲草津温泉 湯畑

## N50・E17同期会

平成20年6月9日～11日 ● 於：函館プリンスホテル

先日、富山商船同期会（N50・E17）が函館で行われました。6月9日～11日の2泊3日、36名参加（内奥様11名）

一日目 函館プリンスホテル淳亭泊、一日目夜函館山夜景観光バスで。

二日目 函館近郊の恵山高原の恵風(ケーブ)に宿泊。

二日目 市内、大沼方面の観光。

二日間の宿泊のためゆっくりと話し合いが出来ました。



湯畑の前での記念撮影



草津温泉 湯もみの実演



草津節の踊り披露



8月10日

- 14:30 善光寺参拝後、長野駅へ、曾根君長野新幹線にて葉山の自宅へ帰る、
- 15:00 長野駅にて曾根君と別れ、3人は一路名古屋へ向かう。
- 18:30 名古屋駅に到着、下田、北嶋 両名は東海道新幹線にて大阪、神戸に帰った。

今回の70歳カルテットの東北ねぶた観賞旅行は、天候に恵まれ、又高速道路の渋滞も無く、すべて順調で有ったのは4名の日頃の行いの賜物だと自負しております。因みに8月4日~10日間のドライブ行程は約2600kmであった。運転は殆ど森田君一人でやってくれて、我々3人は唯ワイワイと50年前の学生(寮生活)時代の話をしていただけだが、70歳代に入ると、昨日の事は忘れがちなのに、50年前の話になると、つい昨日の事のようによみがえり、我ながら驚くことばかりであった。お互い元気で、又このような旅行をしたいものだと、別れ際に話をしたものでした。

8月10日

- 10:30 草津温泉「ホテル高松」を出発、この旅行中、初めての大雨に会う。白根山、志賀高原ドライブウエーを走り、長野の善光寺へ。
- 13:00 長野の善光寺到着、仁王門より善光寺本堂へ、本堂にて今旅行の無事を祈願。

N46. E13同期会

平成20年10月7日●於:山田温泉

19回目のクラス会を山田温泉玄猿楼で行った。県の中心部と云うことで当初春日温泉を考えていましたが、ひなびた温泉と云うことで上記にしました。温泉の湯のみ良かったと云う声もあり反省している次第です。参加者の一部が前日来富したこともあり昼食を新大和で済ませてから新湊で一夜を過ごすため別れた。

最近では富山県のみで実施していますが、メンバーも固定したので案内状の見直しを行い、次回はまた宇奈月の国際ホテルで行って希望者はトロッコに乗ることにしたいと存じます。(牧野 記)



(参加者) 山浦 資雄、高野 穂積、藤井 弘、吉田 靖、松永 五郎、大沢 陽一、牧野 武仕、酒井 弘、中村 宏栄、上条恭一郎、大刀根良雄

## ● ゆうちょ銀行からのお知らせ ●

平成21年1月5日より、ゆうちょ銀行・郵便局と他の金融機関とのあいだでお振込ができるようになります。お客さまが現在お使いの口座をそのままご利用いただけますが、他の金融機関からお振込を受ける際には、振込用の店名・口座番号等をお振込される方にお知らせください。

- ご利用に際し、ゆうちょ銀行・郵便局の貯金窓口への事前申込等は不要です。
- ご入金・ご出金やゆうちょ銀行口座間の振替は、現在の記号・番号をそのままご利用ください。またゆうちょ銀行口座で国庫金(国税還付金や厚生年金等)を受け取る場合、現在の記号・番号をそのままご利用ください。
- ゆうちょ銀行・郵便局専用の通常払込みの払込票は、他の金融機関ではご使用いただけません。

お客さまの記号・番号は、  
記号 00000 番号 000000

他の金融機関からお振込を受ける際にご指定いただく口座情報は、以下のとおりとなります。

銀行名	ゆうちょ銀行
金融機関コード	9900
店番	079
店名(カナ)	〇七九店 (セ' ロナナキユウ店)
預金種目	当座
口座番号	0000000
カナ氏名(注) (受取人名)	トヤマシヨウセン ト' ウソウカ イ

注:カナ氏名は、全額システムを通じてお振込が可能です。小文字を大文字にする等一部変更して表示しております。  
ご登録のカナ氏名を修正される場合は、「原簿異動届書」をご提出いただきますようお願いいたします。(履歴欄を除く。)

## 平成21年度 総会・懇親会のお知らせ

**日時** 平成21年11月7日(土)  
14:00~16:00 理事会  
16:00~17:00 総会  
17:00~19:00 懇親会

**懇親会  
会費** 8,000円(女性は5,000円)  
(平成21年3月、9月に卒業した会員は無料)

**場所** 富山電気ビルレストラン  
〔富山電気ビルレストラン  
〒930-0004 富山市桜橋通り3番1号  
TEL:076-432-4111 FAX:076-432-4130〕

※準備の都合上、出席の有無は10月23日までに同封のはがきでお知らせください。

### 卒業生・保護者の皆様へ

## 富山商船を名乗る 不審電話に注意



ここ最近、富山商船高等専門学校を名乗る人物から卒業生(家族)・在校生保護者を対象に不審な電話が相次いでいます。

内容は「息子(娘)さんの今の進路、就職先の電話番号を教えてください」、「学生の携帯電話番号を教えてください」というものようです。

本校ではそのような問い合わせは行っておりませんので、このような電話があった場合は相手にしないで、「一旦、学校に確認させてください、担当係の電話番号を教えてください。」等、と言って電話を切られるようお願いいたします。

なお、このような電話があった場合、その旨及び内容(通話者の名前、電話番号、聞かれたことなど)をお知らせいただければ幸いです。

**連絡先** 富山商船高等専門学校学生第二課  
**電話番号** 0766-86-5132

### 事務局だより

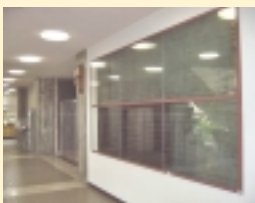
#### 卒業生銘板の展示について

母校図書館の1階入口ロビー壁面に本校第1期生(明治39年入学)から平成17年度までの卒業生氏名を刻した銘板が展示されています。本校に立ち寄られた際はぜひご覧下さい。



#### 同総会資料室について

平成22年の本校図書館改修工事に併せ、同館2階に同総会室を設置してもらえるように学校側と交渉しております。詳細が決まりましたら会報でお知らせ致します。



## 編集後記

今号より前任の橋本君から交代し、編集させていただくことになりました。微力ではありますが頑張りたいと思います。

今号の発行にあたり今まで何となく見ていた会報が完成するまで、企画や編集がどんなに大変であるかが身にしみて感じました。今回、会報を発行できたのも若輩者の私をサポートして下さった皆様のお陰と感謝すると共に、無事に発行できた事を嬉しく思います。

今号では本校と富山工業高専との学校再編記事を掲載しました。私、個人の意見としましては『富山商船高等専門学校』の名がなくなるのが非常に寂しく、また残念に思います。

世は何かと新しい物が求められるご時勢ではありますが、

本校は今まで優秀な卒業生を世に送り出し、社会に対してとたく海運界においては多大な貢献をしてきたと思います。

歴史ある富山商船高等専門学校の校名がなくなっても、富山商船高等専門学校に対する思いは忘れない様、努力していきたいと思っています。

最後に世は100年に1度の経済大不況、政治不安、少子高齢化、学校再編等、近年私達を取巻く環境は大きく変化し、明るい話題が少ない今日ではありますが、会報を通じ、富山商船高等専門学校同総会として同窓生の皆様に明るい話題を提供できるよう努力していきたいと思っております。

どんな些細な事柄や学生時代を振り返って思うことなど皆様からの投稿をお待ちしております。

(事務局 NE3 田村 剛由)